

記入例

<新規取組の機器 2>

令和8年2月2日

競争力強化型機器等導入緊急対策事業
付加価値向上等の機器 証明書

一般社団法人 漁業経営安定化推進協会
代表理事会長 三浦 秀樹 殿

事業実施者名:	漁安協 太郎
漁 協 名:	大漁漁業協同組合
組 合 長 名:	豊漁 祈男

※所属組合長又は広域委員会長の証明とする。

当組合は、上記申請者： 漁安協 太郎 の、被代替機器が無いことの本人確認及び下記の付加価値向上の内容を確認しましたので、ここに証明します。

導入機種名	海水冷却装置	出力能力	冷却能力 〇〇〇〇kcal/h
メーカー名	〇〇〇〇株式会社	型式・番号	〇〇〇〇

現在の漁業の課題	従来、漁獲後に魚槽内に氷を入れて漁獲物の鮮度を保つようしていたが、魚槽内が一定の温度を保つことができず、魚体の鮮度が維持できなかった。 また、操業時間や漁獲量によっては氷の量が不足、水温が上昇し鮮度ダウンになることによって魚価等に影響し、漁業所得の向上が困難であった。 そのため、一定温度で漁獲物の鮮度を保つ機器の導入が不可欠となっていた。
----------	--

新規取組の機器導入の理由と付加価値向上による効果	海水冷却装置を導入することにより、氷の準備をする必要がなくなり、魚船内に海水をポンプで汲み上げ、海水を循環させ、一定温度に冷却することで、鮮度維持だけでなく、活魚の状態にもできる。 また、魚船内の温度等を常時ケアすることが不要になるため、漁に専念できると、魚価及び漁獲量も上がることで、従来より〇%の漁業所得の向上が見込まれる。
--------------------------	---

<別記様式第8-1号別添>3.(2)「機器等を導入することにより得られる効果」の記述内容とリンクすること

※付加価値の証明において漁協内などでの導入事例や類似した機器の成功例を記載	漁協内において、仲間の組合員が海水冷却装置の導入。それにより、魚船内の温度が従来の数倍の時間短縮で0℃となり、漁獲物を高鮮度に保つことにより魚価が〇%アップ。 さらに氷代が不要となり、その準備時間もなくなったことで、実質の操業時間が増えたことで、漁業所得が〇%向上した。
---------------------------------------	--